

THE ANCHOR II 取扱説明

この度は Ovaltone の製品をお買い上げ頂き、ありがとうございます。
製品を快適にお使い頂く為に、この取扱説明書を良くお読み下さい。

使用上の注意点(重要!)

※使用、保存される場所は高温、多湿、ほこり、水を避けて下さい。故障、火災、感電の原因になる場合があります。

※製品を分解、改造しないで下さい。火災、感電の原因になる場合があります。また、音質や音色が損なわれる可能性があります。

※AC アダプターを使用される際は、次の事柄に注意してください。火災、感電の原因になる場合があります。

- ・指定の規格(入力:AC100V 50/60Hz、出力:DC9V、センターマイナス、2.1mm)に合ったものをご使用下さい。
- ・AC アダプターの放熱に十分注意して下さい。
- ・濡れた手で抜き差ししないで下さい。
- ・コンセントから抜くときはコード部を引っ張らず、本体を持って抜いて下さい。
- ・長期間使用しないときは AC アダプターを抜いて置いて下さい。
- ・コンセントの指し口に、ほこりを溜めないで下さい。

※分岐式の電源供給器(パワーサプライ)を使用される際は、次の事柄に注意してください。故障の原因になる場合があります

- ・使用するエフェクターの消費電流の合計が、電源供給器(パワーサプライ)の供給可能な消費電流量を上回らないようにして下さい。消費電流に余裕のあるものをお使い下さい。
- ・センターマイナスのものをお使い下さい。
- ・電源供給器(パワーサプライ)がオンの状態で、既に1つ以上のエフェクターに接続されている場合、パワーサプライケーブルのプラグの外側の金属部分をエフェクターの金属ケース(外装)に接触させないで下さい。一度電源供給器(パワーサプライ)をオフしてから接続して下さい。

※使用しない時は INPUT ジャックからプラグを抜いて下さい。電池の消耗を抑える事が出来ます。
また、長期間使用しない場合は液漏れを防ぐ為、電池を抜いて下さい。

※電池のプラスとマイナスを間違えないで下さい。故障、駆漏れの原因になる場合があります。

※製品を落としたり、無理な力を加えないで下さい。故障の原因になる場合があります。

※トウルーバイパスの為、INPUT と OUTPUT を逆に接続しても OFF 時には音が出ます。お間違えのない様、お気を付け下さい。

※オペアンプは故障時のメンテナンスの為、ソケットを使用しています。ご自身での交換はお控え下さい。

※本体にケーブル表面などゴム状のものを長時間接触させておくと、塗装が溶ける事がありますので、お気をつけ下さい。

■コントロール■



① OUTPUT

最終的な音量を決定します。

② REDUCTION

圧縮する量を調節します。右に回すほど強く圧縮されます。緑のインジケータでかかり具合を確認できます。

③ INPUT GAIN

入力ゲインを決定します。赤のインジケータが点灯する手前まで上げます。(赤のインジケータが多少点灯しても耳障りな歪み方にはならないので、強く弾いたときに点灯する位の目安でも大丈夫です。)

④ S.C.FULL / S.C. LOW-CUT

S.C.はサイドチェインの略で、内部でコンプレッションのきっかけになる部分へ送る信号と考えて下さい。

FULLでは入力されたそのままの信号を送る通常モードです。

LOW-CUTでは入力された信号の低音を削ってその部分へ送るモードです。例えばベースのスラップ演奏時に高音弦の側にだけコンプをかけて粒を揃えたい様な時に使用します。

⑤ COMP / LIMIT

コンプレッサー動作と、リミッター動作の切り替えをします。

⑥ TUNER MUTE

オンにすると赤のインジケータが点灯し、アウトプットがミュートされ、チューナーアウトへ信号が流れます。本体のオン、オフは関係ありません。

⑦ ON/OFF

オン、オフスイッチ。オフ時はトゥルーバイパスです。

※ボディーサイドのトリマー(クリップインジケータの感度調節)

時計回りでスレショルドが上がりLEDが付きにくく、半時計回りでスレショルドが下がりLEDが付きやすくなります。出荷時に当方環境での適正值にセットしてありますので、特に問題が無ければそのままお使い頂けます。

■リアパネル■

リアパネルには“TUNER OUT” “DC IN” “DC OUT”のジャックが付いています。

“DC IN”と“DC OUT”は、もともとアダプタ1台+本機+チューナーのみというセットでの使用を考えて搭載されています。構造は内部で繋がっているだけなので、DC分岐ケーブルで接続した時と同じとなります。

ただし電池を搭載している場合は、アダプタからは必ず“DC IN”の方へ接続して下さい。

■電源■

006P 乾電池(1個)またはACアダプタ(入力:AC100V 50/60Hz、出力:DC9V、センターマイナス、2.1mm)

※安定化されていないものは9V以上の電圧が出力されている場合があります、故障の原因になる可能性がありますので、なるべく安定化されているアダプタを使用して下さい。電池の場合はアルカリ電池推奨。

消費電流が多めなので、アダプタでの仕様をお勧めします。

■消費電流■

約42mA (DC9V)

■電池交換■

裏蓋を外して開け、電池スナップに電池を取り付け、電池収納スペースに収納して蓋を閉じます。